

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 4  
2023・5・22

1 オズデミール大臣：黒海一穀物協定の延長決定に関する声明

「脆弱な国々への食料供給を止めてはならない」 (2023・5・17)

オズデミール食料・農業大臣の以下の声明は、黒海一穀物協定の延長を歓迎した。

オズデミール大臣：ウクライナとグローバルサウスの人々にとって、黒海一穀物協定合意の 60 日間の延長は好ましいことだと言える。

しかし、我々は忘れてはいない。

以前、ロシアはこの協定を一方的にそして予定よりも早く解約を通告してきた。



エズデミール大臣は黒海一穀物合意の延長を歓迎するものの、ロシアの動向を警戒する。

プーチンは常に自らの権力維持のために、必死に闘っているように見え、国際社会への圧力を行使するために、あらゆる機会を利用している。先週と先月にロシアは、またもや船を妨害しそして検査を遅らせている。これは黒海を通じた農業輸出を減らし、最も食料を必要としている国々での供給不足を、拡大させている。まさに海路は食料供給にとって最も重要である。

プーチンは、黒海一穀物協定を直接、間接的に自らの関心事を貫徹するために、圧力として用いている。これは新しいことではない。しかし、もうこのことは終わりにしなければならない。ロシアは国際社会への責任を正當に果たすべきであり、この協定を無制限に続行すべきである。また脅しを述べ、黒海一協定を一方的に停止し、常に短く延長し、ウクライナ農民のために不安定性を先鋭化し、そして穀物の流通コストを上昇させ、グローバルサウスの脆弱な国々に悪影響を及ぼしてはならない。



2022年2月 黒海一穀物協定がイスタンブールで合意署名・今回これが2か月間延長された。



ウクライナ産の大量の穀物が輸出を待っている。

黒海ルートの航路の安全保障で穀物の輸出が進展。

飢餓で苦しむアフリカへの輸送が急がれる。

## 2 連邦食料・農業省：農業・食料分野での人工知能を 380 万ユーロで奨励 ー農業・食品、加工工業など4分野を重点にー (2023・5・15)

クラウディア ミュラー政務官は、今日（5月15日）に奨励金 総額 380 万ユーロ（約5億3000万円）を、オスナブリュック応用科学大学、ドイツ人工知能研究所（DFKI）そしてアグロテック ヴァレイフォーラム e.V.に引き渡した。2028 年初めまでの奨励目的は、農業・食料経済におけるヨーロッパ AIーデータ構築、ロボットの促進である。これは農業分野における AIー適用を試験し、そして AI 活用上の問題点の解決を図る。



農業・食料分野の AI 研究促進の奨励金を授与したクラウディア政務官。

クラウドイア ミュラー政務官：” AI は我々の食料を生産するために、その種類と方法を進化させている。我々は AI でもって農業一食料経済の効率化と持続性を高め、そして気候保護を明確に進展させる。さらに我々は、市場と農業一食料分野において役立つ AI 一ソリューション（課題解決）を必要としている。正に中規模のテクノロジー提供者が、AI ベースソフトとハードウェア一ソリューションを試験するために、技術的な支援が重要となっている。我々の奨励でもって、重要な刺激を与える。

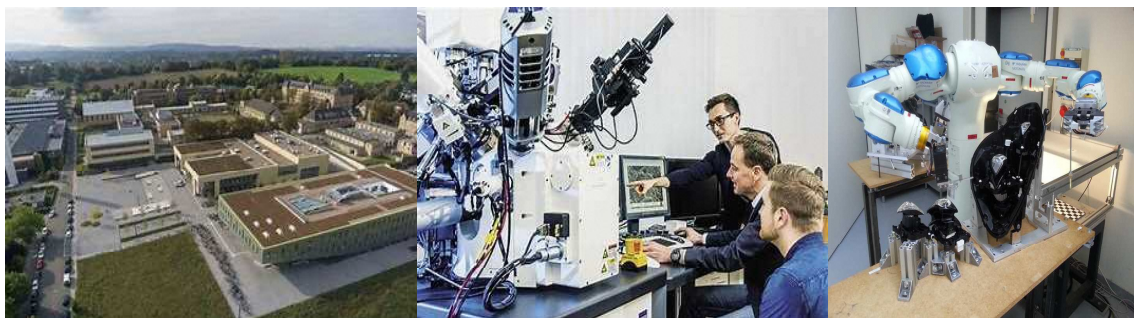
それは AI の大きな可能性を、農業一食料経済における全体の価値創造チェーンで試験し、長期的に活用できるようにするためである。” 連邦食料・農業省の奨励は、共通ヨーロッパイニシアチブの中に位置づけられ、そして EU 一委員会によって協調融資がされる。

計画されているのは、試験一実験施設のヨーロッパネットワークの確立である。それは高水準でかつ持続的、効率的そして競争力を備えた生産の循環経済奨励である。

## 背 景：

デジタルヨーロッパプログラム (DIGITAL) は、EU 一奨励プログラムである。この目的は、企業、市民そして公的行政のためのデジタルテクノロジーの準備を、集中させることである。これは4つの分野、農業一食品、健康組織、加工工業並びにスマートシティーコミュニティでの、試験一実験施設を計画している。大規模で重要な試験一実験施設 (TEF)、これは連邦食料・農業省が設立した農業におけるデジタル実験圃場によって、方向づけられている。そして技術的な支援を受けることができる物理施設と仮想施設の組合せを提供する。

これは最も新しい AI ベースのソフトウェアとハードウェア テクノロジー (AI 一支援のロボット含む) を、リアルな現実の中で試験する。いわゆる EU 一プログラムを通じて、農業一食料経済におけるヨーロッパ AI データ構築、そしてロボットソリューションによる「アグリフード TEF」の枠組みで、ヨーロッパ委員会が 50%まで出資する。追加の資金はそれぞれ各加盟国から拠出される。



国の奨励金で農業・食料分野の AI のハンドリング技術開発  
AI 研究を促進するオスナブリュック応用科学大学の全景。 に取組むロボット工学研究室。 開発中のロボットアーム。



ドイツの AI 研究の中核を ロボット研究。 農業分野でも同センター  
の担う AI ドイツ研究センター。 AI 研究プロジェクトが  
スタートした。

### 3 連邦政府閣議：連邦政府動物福祉委員にアリアン カリ氏を任命 ―動物保護と家畜飼育組織からの提言を政策に反映― (2023・5・10)

連邦政府は、今日（5月10日）連邦食料・農業大臣オズデミールから提案された動物保護連邦委員に、Ariane kari（アリアン カリ）氏を決定した。彼女は、これまでバーデン・ヴュルテンベルグ州の州副動物保護委員であり、2023年6月中旬に連邦委員に就任する。



連邦初の動物福祉委員に就任したアリアン カリ氏。

連邦大臣ジェム オズデミール：” 長年にわたって動物保護の体験をもち、実績のあるエキスパートである、アリアン カリ氏を迎えたことは、私の大きな喜びである。



彼女の活動でもって動物の保護に重要な刺激を与えること、そして専門的な識見をもって動物保護の分野における議論と対話をサポートし、促進することを私は確信している。既に多くの州で動物保護の州委員を実現させている。我々は連邦レベルでのこの職務の創設でもって、ドイツにおける動物保護を組織し、そして制度的にさらに強化する。”

アリアン カリ連邦動物保護委員：” 私は動物保護に関する連邦政府委員としての仕事の中で、動物保護を促進する大きなチャンスを見ている。私は連邦レベルでの動物保護に関わる発言権を与えられ、そして例えば法案立法手続きを代表することに喜んでいる。さらに私は、常に動物とのつき合いで生ずる障害に焦点をあて、それを所管する職務によって除去したい。更なる重点は、動物保護または家畜飼育に取り組む組織と担当者からの提案を、考慮することである。特に私は動物の要望に関するより多くの知見を啓蒙・広報活動で伝えたい。なぜならば、知識が動物を守るからである。”

委員は政治的、専門的に自立している。その際、特に課題となる重点には以下が挙げられる。

- ー 動物保護を管轄する連邦大臣への重要な問題提起を、勧告または意見表明の形で行う。
- ー 国内、ヨーロッパ、国際レベルでの動物保護のさらなる発展に際して、動物保護の分野における連邦政府の計画への参画
- ー 動物保護上の規則実行に関して、各州の管轄省から任命されている動物保護州委員との共同活動と交流
- ー 全般的そして当面の動物保護のテーマに対する市民の照会への対応
- ー 連邦・各州で実施されている動物保護・家畜飼育組織との交流
- ー 各州の任命者の活動交流とコミュニケーション、プレゼンテーション
- ー 委員の仕事について規則的な活動報告書の作成と公表

## 本人について

アリアン カリは、1987 年にプオルツハイムに生まれた。彼女は 2016 年にバーデン・ヴュルテンベルグ州の食料・農村地域省に、州動物保護担当官のスペシャリストチームで活動した。そして 2017 年に同州の消費者保護省の動物保護担当官事務所で、州動物保護担当官を引き継いだ。2012 年には、獣医として必要な承認資格をとり、2015 年に公式獣医（市役所など動物病の管理など、公的業務を担う獣医職）のため再教育の後に資格を取得した。2019 年には動物福祉の獣医として追加指定を受けた。

2022 年以來、アリアン カリはさらに動物保護の専門獣医でもある。さらに彼女は、2012 年から 2014 年まで獣医薬監視の分野で、そしてチューリングン州地域評議会の食料安全のためのスタッフチーム協力者として活動していた。

そして 2014 年から 2016 年までラインネッカー郡の獣医事務所で、動物保護副調査管理者であった。アリアンは、2023 年 6 月 12 日に就任し、そして連邦食料・農業省内にてこの日に公的に自己紹介する。



豚飼育組合と動物愛護団体との対話  
前列左がアリアン カリ氏。



動物保護には獣医が活躍する。



豚にワクチンの接種する獣医。



犬の健康を守る獣医。



動物保護への社会的関心が高まっている。

#### 4 EU：世界の森林保護のための道を開くー森林破壊のないサプライチェーンー森林破壊の無いサプライチェーン規則の正式承認ー（2023・5・16）

今日（5月16日）にEU一理事会において承認された規制は、EU一域内で統一し、義務づけを伴った森林破壊の無いサプライチェーン（供給連鎖）を創り出す。これはEU一全加盟国における規制である。原料の大豆、パーム油、牛、コーヒー、カカオ、生ゴムそして木材並びにそれらから作られた産物が、同盟一市場に輸入ー輸出、または



森林破壊の無いサプライチェーンを決定したEU一理事会。

その準備することが規制される。

これは森林破壊と森林損傷と結びつかないこと、同時に原産国の法との調和の中で生産される。連邦食料・農業大臣オズデミールが、毎年約1 000万haの森林が破壊されていることを強調した。”この規制は、持続可能な農業のための重要な礎石である。そして原料と産物の原産国において、社会的な影響と積極的な生態系効果をもたらす。”

森林は気候危機と生態系の多様性喪失に対する闘いにおいて、世界規模で決定的に重要な要因である。我々の課題は、子供たちと孫の将来のための森林を、守ることである。連邦政府の森林破壊の無いサプライチェーンのために、重要な決定である規制でもって、消費者の購入でもっての森林破壊促進を回避する。

EU一加盟国による規制の正式承認の後、来週署名セレモニーとEU一同盟官報で公表される。この公表20日後に発効する。18カ月後、つまり2024年末に新しい規則が適用される。

各加盟国内の実施法作成作業が既に開始されている。監督官庁として連邦農業・食料庁（BLE）は、この規則導入を税関との共同作業において準備している。連邦食料・農業省（BMEL）、連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV）、連邦経済エネルギー省（BMWF）そして連邦経済協力・開発省（BMZ）と、連邦政府内の各専門所管省とともに、生産国における支援政策でもって奨励する。

EU ー規制については、戦略的に EU ー枠内で他の加盟国と EU ー委員会が共同で取組む。連邦食料・農業省は、独自に設立した森林破壊のないサプライチェーンに関する「国内利害関係者フォーラム」において、情報を提供する。

経済、科学そして市民社会から約 200 人メンバーで構成するこのフォーラムにおいて、企業的に十分に配慮した義務と、それぞれの問題解決について意見交換を行う。同時にこのフォーラムに国内実践上の意見交換が、中心的な役割を果たす。



森林破壊は世界規模の気象変動をもたらす。



違法な森林破壊は野生動物の棲息地も破壊する。

## 5 森林気象パケット：2023 年の奨励財源を直ちに承認

ー 2 億ユーロ（約 280 億円）が利用可能にー (2023・5・15)

連邦食料・農業省の「気候適応の森林管理プログラム」からの奨励財源は、援助法上の条件無しですぐに承認される。このため、2023 年に関して 2 億ユーロが充当される。既に提出されている申請は決定され、直ちに奨励金が支払われる。これは今日（5 月 15 日）の連邦官報に記載され、明日から有効となる。



連邦食料・農業大臣オズデミール：森林の気候に強い適応は、多くの森林所有者にとって重要となっている。森林所有者は知っている。森林を強化したい人は誰でも、気候保護を強めたいと。



補助金上の免除でもって今、森の所有者がまだ多く直面している、最後のハードルが取り除かれた。我々は森林—気候パッケージは今、気候—生物多様性保護のために十分な効果を発揮できる。これでもって将来的に気候に強い森林づくりを、全ドイツで ha 毎に配慮できる。

この奨励プログラムでもって、長期的な奨励が導入される。

気候—生物多様性保護のために、補完的な財政投入がされる。この奨励は、2022 年にデーミニミス（訳注）条件のもとにスタートし、EU —補助金法によって廃止された。これは既に奨励プログラムは、全ドイツの私有林または公有林所有者が申請している。そして既に 100 万 ha の面積に達し、これは認可されている。連邦食料・農業省は、2022 年から 2026 年まで総額 9 億ユーロ（約 1 260 億円）の奨励金でもって、気候変動への適応を支援している。

（訳注・デーミニミス：EU-指令でいかなる援助も、EU—委員会の承認を得ることになっている。しかし、援助金額が少額で EU —市場に脅威を与えない場合は、EU—委員会に通知する必要がない。）

## 背 景：

11 月 12 日にこのプログラムがスタートして以来、800 人以上の人が民有一公有林所有者が、全面積 118 万 ha の森林への奨励金を申請している。これは全ドイツの森林面積の約 13%に相当している。改正した奨励指針でもって、財政資金の解除のための財政委員会決定を実践し、そして農業免除規則 46 条によって、奨励指針の補助法免除が可能となった。今日の改正された「気候適応の森林管理のための補助金奨励指針」の公表でもって、自然原料専門機関 e.V. (FNR)に最初に申請され、そしてその後の申請も直ちに認可され、迅速に奨励金が支払われる。



干ばつで森が枯れる。

暴風で倒木。

乾燥が森林火災を広げる。



森林火災は森の多様な生物を焼きつくす。



干ばつで樹勢の衰えた樹木がキクイムシの被害で枯れる。



樹皮の下に入り込んで大被害を引き起こす。

左が成虫 上部が幼虫



未来を担う子供たちが植林を。



地域の森林所有者が森の再生を話し合う。

森林管理官（左側の女性）の説明を聞く。

## 5 イギリスの EU 離脱によるドイツの漁業支援に 3200 万 € を支出

ー EU-同盟からドイツ漁業経営に新しい奨励政策ー (2023・5・10)

イギリスの EU 離脱 (Brexit ブレグジット) による漁獲量喪失に関して連邦食料・農業省は、ドイツの漁業経営に対して財政上の新しい支援で、総額 3200 万 € (約 45 億円) の支出を決定した。



漁獲量削減でドイツ漁船も苦境に。

これでもってドイツにおける海の経済部門維持のための重要な貢献を果たす。該当する漁業経営が既に 2021 年に短期の「つなぎ資金」500 万 €（約 7 億円）を支出した後、新たに EU ー同盟から認可されたブレグジットー調整予備金指針（BAR）で、漁業経営の構造改革段階におけるイギリスの離脱後の状況適応を、支援するための機会を提供する。

さらに政務官クラウディア ミュラーが述べた：”我々は漁業者を置きざりにすることなく、目的に適応した支援を行う。ブレグジット以来、ドイツの北ー東部海岸の多くの漁業経営の経済状況は厳しく、かつウクライナに対するロシアの侵略戦争の影響で、さらに一層先鋭化している。

我々の奨励によって、直接または間接的に漁業と結びついた就業の場（例えば魚の加工工場）でも、恩恵を受けている。まさに漁業は、農村の沿岸地域についても重要な経済部門であり、これがアイデンティティ（同一性）を生み出しており、我々はこれを守りたい。マーケティングー投資そして適応対策並びに漁業分野における「補償指針」を通じて、例えば魚のマーケティング転換のための対策、または新しい生産施設、さらに直売の改善ー拡充、新しい市場開拓、漁船への投資政策並びに補償が申請できる。

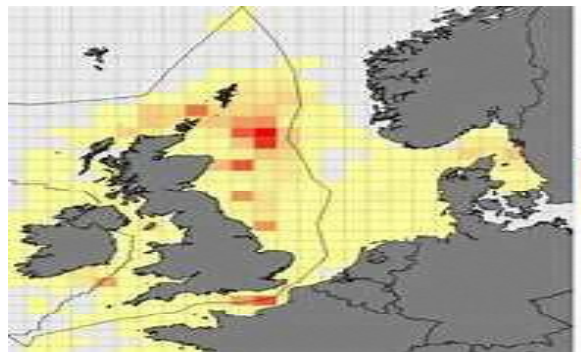
EU ー財源からの投資奨励の申請は、2023 年 9 月 30 日までにメクレンブルグーフォアポーメルン州、ニーダーザクセン州の管轄機関に提出できる。EU ー委員会の条件に応じた補助金は、これら対策のために有効である。特にヨーロッパ海岸漁業そして養殖漁業基金（EMFAF）を通じた対策は、この規則に該当する。これによって政策への融資と経営規模によって、補助金制限が生じてくる。

## 背 景：

ドイツの漁業経営についてブレグジットの影響は、依然として明確に感じ取れる。2026 年までにドイツの漁業経営は、ヨーロッパ同盟とイギリスそしてノルウェー、北アイルランドとの間で締結した貿易ー協力協定の結果として、北海と北東大西洋における漁獲量の約 25%を失った。これは該当する漁業経営の漁獲量の減少だけでなく、漁業加工ー販売経営とここで働く従業員への影響も意味している。



ドイツの漁業分野には、約 35 000 人の人々が就業している。2021 年に EU ー同盟は、ブレグジット適応予備金 (BAR) の調整規則を公布し、2021 年と 2023 年の支援政策を実施した。2021 年には、つなぎ資金援助、2022 年には漁業経営に対する補償指針に基づいて、ブレグジットの影響で漁獲を一時的ないし恒久的に漁業経営への補償を行う。



イギリスを囲む黒い線内で EU-漁船の操業は排除。これによって EU-漁獲量は 25%削減された。



タラ漁は 50%の大幅削減となった。



魚の加工場も大きな影響を受ける。

2023・5・20 記  
青森中央学院大学  
地域マネジメント研究所  
中川 一徹